



愛情ギュッとず〜っとはむら♡

広報 はむら

11月15日号

令和3(2021)年



羽村市消防団本部女性団員の皆さん。活動の内容や雰囲気など、教えてくれたよ♪ 皆さんとても明るくて、楽しかったりん♪ 詳しくは1ページを見てね!



広報はむら 令和3年11月15日号

令和3(2021)年11月15日発行 第1057号 URL = <https://www.city.hamura.tokyo.jp/> / s102000@city.hamura.tokyo.jp
【発行】羽村市 【編集】羽村市広報広聴課 〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 ☎042-555-1111 ⑨337 FAX 042-554-2921

～輝くはむらの子どもたち～ 個性あふれる保育園（こども園）

第26回 保育展

市内の保育園の紹介、お子さんの健康や食育に関する情報など、日々の育児に役立つ情報を展示します。今年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、展示のみとし、会場の入場制限を実施して行います。

日時 11月25日(木)～30日(火)の午前10時～午後4時
※30日(火)は午後1時まで
会場 ゆとろぎ展示室(展示のみ)
対象 保育園、幼稚園に通っている親子、子育て中の方、未来のパパ・ママ
共催 はむら保育展実行委員会、羽村市
問合せ 第26回はむら保育展実行委員会
富士みのりこども園(堀川) ☎554-7773



保育展ポスター▶



◆◆◆ 収藏品ファイル その93 ◆◆◆

シリーズ 博物館とどうぶつ⑩ 「猿形土偶」

右の写真は、現在の川崎四丁目付近の約5000年前の集落跡(羽ヶ田上遺跡)から出土した、珍しい形の土製品です。猿の顔に見えるため郷土博物館では「猿形土偶」と呼んでいます。土偶は、縄文人の信仰、呪術、祭りと深く関わるもので、縄文文化特有の遺物です。猿形土偶がどのような目的で作られたのかは不明ですが、縄文時代への想像がふくらみます。



現在、郷土博物館で開催中の特別展「土器ツと羽村ー縄文時代のくらしー」では、実物を見ることができます。

これは、壺長類ののどに見られる「鳴き袋」と思われます。

問合せ 郷土博物館 ☎558-2561

☆羽ヶ田上遺跡
現在の川崎一・四丁目の一部、羽東一・二・三丁目の一部を含む範囲に広がっている、縄文時代中期の遺跡。

郷土博物館公式 Twitter ▶



広報はむらは再生紙を使用しています